

担当課	主:生涯スポーツ課
-----	-----------

生涯スポーツ課	69,768,180
合計	69,768,180

単位:円

No.	交付金事業の名称	総事業費	つち国費 (交付金額)	うち市費
2	雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクト	69,768,180	34,884,090	34,884,090
単独事業と広域事業の別		単独	事業実施計画(申請)段階テーマ	地方への人の流れ
			事業タイプ	横展開

B 事業概要(目的)
 すべての市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現に向け、スポーツ・健康づくりの分野からまちづくりを進める。自転車を活用した健康なまちづくりとともに脱炭素社会の実現、交通分散率の向上といった環境面へ配慮した地域社会の実現を目指した取組、雪国の長年の課題「除雪作業」をスポーツの視点から検証・分析し、民間企業との共同研究によって除雪作業の運動量をデジタルに可視化して、スマートフォンで測定できるアプリケーションプログラムを開発することを契機とした地域イノベーションの創出に向けた取組、市民が日常的に身近に健康づくりと関われる環境整備を進めるため、幅広い世代からの情報収集と分析を行い、市民ニーズに合ったスポーツ、アクティビティ、健康づくり講話などの教室の拡充、イベントの提供を行う取組などを実施。このようなスポーツ・健康づくりの事業を、産官学連携や地域間連携など新たな視点から再検証し、市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現を目指す。

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	目標値				
	事業開始前 (基準年:R1)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	(KPI増加分の累計)
南魚沼市健康ポイントの目標達成者数	120人	80人	100人	100人	280人
自転車関連イベントの参加者数	1,370人	1,212人	200人	200人	1,612人
総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数	468人	20人	20人	20人	60人
市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかな暮らしを実現するプロジェクトの延参加者数	10,709人	1,000人	3,000人	5,000人	9,000人

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	実績値				
	事業開始前 (基準年:R1)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	(KPI増加分の累計)
南魚沼市健康ポイントの目標達成者数		39人	86人		125人
自転車関連イベントの参加者数		△500人	1,964人		1,464人
総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数		△102人	191人		89人
市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかな暮らしを実現するプロジェクトの延参加者数		△4,261人	2,161人		△2,100人

E 交付金充当事業の内容及び事業実績額 (補助率1/2) (単位:円)

E-1	1 自転車を活用した健康なまちづくりを市民とともに創り出すプロジェクト	4,619,780
【事業の概要】 市民のサイクルスポーツの振興を目指し、電動アシスト自転車のレンタサイクルサービスやモニターツアーを実施するとともに、新潟県との連携事業により動画を作成し、SNS等で魅力や情報を発信。 ①市民や地元企業向け電動アシスト自転車レンタサイクルサービスを実施:2,522千円 ・市民向け:4/22~11/30、市内4か所の貸出窓口で実施。(利用者98人) ・ナイトウォーク会場での体験試乗会(7/30 利用者2人) ②ガイド付き試乗体験会を3日間実施。(9/25、10/9、11/6 参加者31名):364千円 ③魚沼地域(南魚沼市、魚沼市、湯沢町)の自転車ブランドの構築と魅力発信のためショート動画制作、プロモーションの実施:1,734千円 ・サイクリングプロモーションショート動画、ルートマップを作成し、南魚沼市スポーツ&アクティビティ情報総合サイト内にて発信		
E-2	2 雪国の長年の課題「除雪作業」を健康づくりの分野から地域の活力へ転換するプロジェクト	1,980,000
【事業の概要】 除雪作業をスポーツのひとつとしてポジティブ化したイメージチェンジを図り、冬場の健康づくりのための運動不足解消ツールとして定着を目指す。 ①除雪作業といった雪を活用した健康づくりのプロモーションイベントの開催:1,980千円 ・雪下ろしイベント「世界雪ほり選手権」(2/4 会場:塩沢小学校グラウンド及び校舎 参加者数42名) ・スノーアクティビティイベント(2/5 会場:欠之上クロスカントリーハウス 参加者数230名) ・除雪作業等の日々の作業の可視化を取り入れたスマートスコープ体験会(2/4、5 会場:2/4塩沢小学校、2/5欠之上クロスカントリーハウス 参加者数17名)		
E-3	3 市民の健康無関心層への効果的な健康づくり推進プロジェクト	2,549,200
【事業の概要】 ①健康ポイント事業の参加促進ポスターを作成し、市内コンビニエンスストア等25か所でPRを実施:299千円 ②健康づくりを促進するため健康ポイントのアプリ機能の開発:1,650千円 ③アスリートフードを活用下健康普及事業:600千円 ・ジュニア世代の栄養学講座(2/22 講師:アップルスポーツカレッジ教員 伊藤直美 会場:ふれあい支援センター 参加者数32名)		
E-4	4 市内のフラッグシップ的スポーツ施設を活用した市民のスポーツ普及プロジェクト	4,999,900
【事業の概要】 ①スポーツ競技者・団体を招聘してイベント、スポーツ教室を開催:4,000千円 ・招待高校野球(6/4.5 招待校:長野県佐久長聖高校 参加校:六日町高校、小出高校、十日町高校、小千谷高校、塩沢商工高校 会場:大原運動公園 参加者数152名、観客350名、役員48名) ・テニスクリニック(7/9 講師:早稲田大学庭球部7名 会場:大原運動公園 参加者数54名) ・ソフトテニスクリニック(9/10 講師:ヨネックス株式会社選手、県内選手6名 会場:大原運動公園 参加者数65名) ②上田雪国スポーツセンターを活用した野球教室の開催:1,000千円 ・岡崎郁のYAKUDO野球アカデミー(12/11 講師:読売ジャイアンツOB 岡崎郁 後藤孝志 会場:上田雪国スポーツセンター 参加者数71名 内訳小学生34名、中学生37名)		
E-5	5-1 市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかな暮らしを実現するプロジェクト	12,697,300
【事業の概要】 ①幅広い世代の市民を対象に、多様なスポーツに参加する機会を創出するため、スポーツ教室やイベントを開催:11,477千円 ・4月~11月 21事業 延べ実施回数504回、延べ参加者数7,195名 ・12月~3月 5事業 延べ実施回数112回、延べ参加者数652名 ・オンラインスポーツクラブ 登録数626名(イベント参加者数21名) ②アウトドアスポーツ普及プロジェクト事業AYANA'S RETURN PROJECT:1,000千円 ・マウンテンクリーン&ラフティング体験(10/8 講師:小野塚彩那 会場:石打丸山スキー場、魚野川 参加者数16名) ・スキー教室(2/23 講師:小野塚彩那 会場:石打丸山スキー場 参加者数18名) ③スポーツ講演会:220千円 ・佐久長聖高等学校 藤原弘介硬式野球部監督講演会(1/22 会場:市民会館 参加者数102名)		

E-6	5-2 市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかなくらしを実現するプロジェクト【ハード事業】	
	【事業の概要】 旧第二上田小学校体育館改修工事 名称:上田雪国スポーツセンター 令和5年11月1日供用開始 総工事費 46,605千円 うち対象内 42,922千円 うち対象外 3,683千円	42,922,000
■実施事業及びKPI実績についての評価		
F	事業実績についての評価 ※右欄から選択	①
G	上記評価結果に対する特記事項 ※任意記載 (事業の成果や課題について特筆すべきことがあれば記載)	①計画どおりに実施し、十分な成果が得られた ②おおむね計画どおりに実施したが、期待される成果には達しなかった ③計画どおりに実施できず、ほとんど成果が得られなかった
H	事業の修正・改善点 (令和3年度の事業実績や成果を踏まえて、PDCAによる事業改善の観点からの修正・改善点)	一部のKPIは目標値に達していないものの、自転車イベントの再開に加え、多様なスポーツイベントや教室を開催することができた。また、国際大学や長岡技術科学大学、大正大学の学生から参加いただき、新たに雪下ろしイベントや雪上での自転車乗車体験など雪を活用したイベントを実施することができ、サイクルスポーツの推進やスポーツを通じた健康増進の機運の醸成につながった。
I	KPIの目標達成状況 ※右欄から選択	②
J	目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載	①すべてのKPIで達成 ②一部のKPIで未達成 ③すべてのKPIで未達成 ④すべてのKPIで未達成かつ事業開始前より悪化した指標がある
		健康ポイント事業の目標達成者数は、KPIが未達成となった。特に若者や男性の参加が少ない傾向にあった。
■交付金事業の地方創生への効果		
K	事業効果 ※下記から選択	②
		①地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた) ②地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる) ③地方創生に効果があった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる) ④地方創生に効果がなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い)
L	交付金事業実施の総括 (令和3年度の事業実績や効果を踏まえて、今後の取組にどのようにつなげていくかなどを記載)	自転車イベントの再開に加え、多様なスポーツイベントや教室を開催することで、サイクルスポーツの推進やスポーツニーズを掘り起こすことができた。また、雪下ろしイベントや雪上での自転車乗車体験など雪を活用した事業により、雪国ならではの新たな視点による健康づくりへの取組とスポーツを楽しむ習慣化への誘導はできた。一方、スポーツや健康増進に関心の薄い市民への働きかけ方法には課題が残っている。今後は幅広い世代からの参加者を掘り起こすため、これまでの取組を検証しながら、さらに効果的なスポーツ・健康づくりの事業を展開していく。
M	「K 事業効果」、「L 交付金事業実施の総括」に対する外部有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント事業について、企業は健康について非常に気にしているので、健康ポイント事業の利用を勧めるなど参加者を増やすためにPRしてほしい。また、自分の健康がどうかということをいちばん気にする健康診断も良いPRの場である。 ・生涯スポーツの推進ということを切り口として、「自転車のまち南魚沼」を明確にし、環境整備を市民、事業者、行政一体となって進めてほしい。自転車の事故が起きないように、自転車専用のレーンをつくる、田んぼが多いので農道を利用して自転車優先にするなど工夫すると良い。 ・総合型スポーツクラブはスポーツ推進だけではなく、コミュニティの場として世代間交流の重要なものであり、これを進めてほしい。 ・若者世代がイベントに参加しないということについて、子どもたちを通じて親世代が参加するような取組をすると良いと思う。

【2】デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業のまち・ひと・しごと創生総合戦略における位置づけと事業評価シート

【戦略プロジェクトⅡ】移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト		まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ (その1)					
【基本プロジェクトⅡ-2】交流人口・関係人口の創出・拡大							
【施策】国内外の交流を推進する							
指標No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R6目標値	実績値			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
Ⅱ-2①-1	「総合型地域スポーツクラブ」への市外からの参加者数	468人	568人	366人	557人		
KPIの目標達成状況 ※右欄から選択		②	①KPIを達成 ②KPIは未達成だが目標値に向かって順調に推移 ③KPIは未達成で目標達成は難しい状況 ④KPIは未達成で数値が悪化している				
目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載		未達成となったものの、目標に向け順調に推移している。					
KPI実績と交付金事業の関連性 (交付金事業の実施によりKPIの目標達成にどのような効果や影響があったか、事業実施前後で改善・前進した取組などを記載)		幅広い世代の市民を対象とした多様なスポーツイベントや教室を開催することで総合型地域スポーツクラブを充実させることができた。					

【戦略プロジェクトⅡ】移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト		まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ (その2)					
【基本プロジェクトⅡ-3】地域資源を活用した質の高い観光交流の推進							
【施策】自然環境や地域特性を生かしたスポーツ・ツーリズムを推進する							
指標No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R6目標値	実績値			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
Ⅱ-3③	自転車関連イベントの参加者数	1,370人	3,400人	870人	2,834人		
KPIの目標達成状況 ※右欄から選択		②	①KPIを達成 ②KPIは未達成だが目標値に向かって順調に推移 ③KPIは未達成で目標達成は難しい状況 ④KPIは未達成で数値が悪化している				
目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載		未達成となったものの、目標に向け順調に推移している。					
KPI実績と交付金事業の関連性 (交付金事業の実施によりKPIの目標達成にどのような効果や影響があったか、事業実施前後で改善・前進した取組などを記載)		電動アシスト自転車のレンタサイクルサービスやモニターツアーなどの実施に加えて、雪上での自転車体験会を実施し、自転車というスポーツ資源を地域資源として活用する環境づくりを進めることができた。また、新潟県や魚沼地域定住自立圏の自治体と連携しながら、サイクルスポーツの魅力や地域特性を生かしたスポーツツーリズムのプロモーションを実施することでサイクルスポーツを身近に感じられる機会を設けることができた。					

■【1】及び【2】の評価結果を踏まえた本事業の効果の検証

総合戦略のKPI達成に対する交付金事業の有効性 ※下記から選択	②	←本部会議での評価結果
①非常に有効であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた) ②相当程度有効であった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる) ③有効であった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる) ④有効ではなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い)		
外部有識者からの意見 (上記「本部会議での評価結果」についての妥当性)	②	・評価についてはこれで問題ない。 ・トレッキングや登山もポイント化できるようにして、市外から来た人もポイントを取って、南魚沼市にお金を落としていくという仕組みができればいいと思う。 ・総合型スポーツクラブについて、市外からの参加者がいるということは魅力的に受け止めてもらえていることだと思う。移住定住にもつながる指標となる。 ・自転車については、イベントにより参加者が増え、その結果、イメージが向上した、あるいは住民が喜んでいるなどのアウトカム指標を明確にしてより「選ばれるまち南魚沼市」を進めてほしい。 ・総合型スポーツクラブを、部活動の地域移行の核として位置づけて進めていくことが、「選ばれるまち南魚沼市」ということを性格づけると思う。